

災害から命を守る

福島県防災アプリ

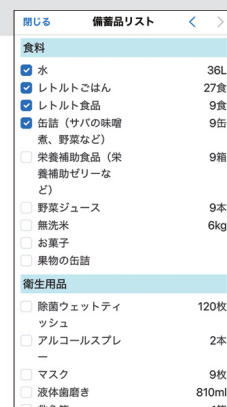
福島県では、防災情報の通知や避難行動計画の作成機能をはじめ、いざという時に迅速で適切な避難行動がとれるよう、さまざまな機能を備えた「福島県防災アプリ」をリリースしました。必要な情報や機能が一つのアプリに集約されているため、より迅速で適切な避難行動に役立ちます。アプリをダウンロードして、いつ起こるかわからない災害に備えましょう。

ダウンロードは
こちら▶避難所
検索

今いる場所から最寄りの避難所などを検索してマップに表示し、ルート案内を行います。

安否
確認

事前にグループを作成しておくと、災害時に家族・友人と安否情報の共有ができます。

備蓄品
リスト

家族構成に合わせて推奨される備蓄品リストを自動作成・編集・確認できます。

防災マップ

ハザードマップや雨雲、河川水位、道路規制情報のほか、河川カメラや道路カメラなどを確認できます。

避難計画

家族構成や自宅、職場での災害リスクを踏まえ、自分に合った避難計画「マイ避難シート」が作成できます。

防災情報通知

気象情報や避難情報、避難所情報などの防災情報がタイムリーに通知されます。現在地に加え、最大3つの地域が登録できます。

水害に備えて

台風や大雨が増えるこの季節。自宅や職場周辺の水害リスクを把握していますか。「福島県防災アプリ」の防災マップや町ホームページ掲載のハザードマップ(右記二次元コード)から、水害の危険性が高い場所を事前に確認しましょう。

確認エリア

- ☒ 土砂災害(特別)警戒区域
- ☒ 浸水想定区域
- ☒ 家屋倒壊等氾濫想定区域

▼ こちらもチェック ▼

新たな土砂災害発生想定箇所

県では、土砂災害警戒区域などが指定されていない箇所での土砂災害発生頻度が高まっていることから、「新たな土砂災害の発生のおそれのある箇所」を公表しました(今年6月)。ハザードマップと併せてご確認ください。※土砂災害警戒区域指定に向け、調査中の箇所です。



倒壊建物や車両閉じ込めからの救助想定

町消防団本団主催の消防団救助資機材搭載型消防車訓練が5月26日、役場駐車場で行われ、団員約40人が参加しました。

伊達地方消防組合中央消防署救助隊員を講師に迎え、消防庁から貸与されている救助資機材搭載型消防車に搭載された資機材を使った訓練を実施。倒壊した建物や車両に閉じ込められた住民を救出する想定で、油圧式切断機を使った車両のこじ開け作業やエンジンカッター、チェーンソーによる切断作業に取り組みました。団員らは、真剣な面持ちで、一つ一つの作業を確認し、さらなる技術向上に努めました。



▲消防署職員の指導を受けながら、油圧式切断機の操作に取り組む団員の皆さん

地域で守る桑折西山城跡

桑折西山城を守る会主催(町共催)の桑折西山城草刈りボランティアが6月8日、現地で行われました。

当日は、霧がかかる幻想的な景色の中、早朝より同会会員や一般町民、町内企業、役場職員など約150人が参加し、国史跡桑折西山城跡や県天然記念物の万正寺の大カヤの環境美化活動を実施しました。

今後も、桑折西山城を守る会と町は、町の大切な宝である桑折西山城を後世に引き継ぐための活動を積極的に行っていきますので、ご理解とご協力をお願いします。



▲朝露残る広大な敷地に生い茂る草を丁寧に刈る参加者の皆さん

鮮やかな花でお出迎え

追分長寿会による花植えボランティア活動が6月7日、JR 桑折駅前で行われました。

当日は、14人の会員の皆さんが参加。互いに協力し合いながら花壇への花植え作業を行い、駅前を鮮やかに彩りました。同会の安藤重男会長は「駅利用者や来町される人々を心地よく迎え入れたいという思いで、みんなで協力しながら毎年作業をしている」と話しました。マリーゴールドをはじめ、500本もの色とりどりの花が、駅利用者を出迎えます。



▲町の玄関口を華やかにという思いを込めて一つ一つ丁寧に花を植える皆さん

色とりどりの花で町を華やかに

町赤十字奉仕団による花植えが6月9日、国道4号沿いで行われ、25人が参加しました。

同団体は、30年以上前から花壇の手入れや花植えを実施しており、当日は早朝から作業が始まり、今回は花植えに加えて花桃20本の植樹も行いました。参加者らは「道行く人たちの癒しになれば」「華やかな町だと思ってもらえたら」などの思いを胸に、一本一本心を込めて植えました。和気あいあいと会話を弾ませながら、町の環境美化に努めました。



▲ファミリーマート福島桑折町店前で植樹や色とりどりの花を植える参加者の皆さん